

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
疾病と傷害1							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・昼間部	2年	3期	河内 和宏		○		
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門基礎分野	疾病と傷害			座学	1	10	
科目概要							
内科診察における、問診、理学所見、主要徴候を勉強して理解する。							
目標							
一般目標(GIO) <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>	患者診察の初歩的な手法を理解する。理学所見の取り方、解釈ができるようになる。						
	到達目標(SBO) <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</small>	1. 問診、視診、打聴診、触診の方法について、複数の選択肢の中から、正しい答えを選択することができる。 2. その所見の解釈からいくつかの診断名の鑑別をすることができる。					
履修に必要な予備知識や技能							
解剖学、生理学全般を復習しながら、臨床医学の知識が身に付き、柔整師としての鑑別診断に応用できる。							
教科書・参考書							
一般臨床医学 改訂第3版 南江堂							
受講上の注意							
勉強のスキル身につくように集中できる。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	90					10	100
	定期試験...4者択一のマークシート その他...受講に対する積極性やその姿勢						
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	問診、視診(カルテ記載ができる。初診所見で一発診断できる)			1~26	教科書、ノート、プリント		
第2回	視診まとめ(カルテ記載ができる。初診所見で一発診断できる)			1~34	教科書、ノート、プリント		
第3回	打聴診まとめ(カルテ記載ができる。打診要領を身に着ける)			1~45	教科書、ノート、プリント		
第4回	触診まとめ(カルテ記載ができる。触診要領を身に着ける)			1~52	教科書、ノート、プリント		
第5回	生命徴候まとめ(発熱の鑑別、浮腫のメカニズムと治療がわかる)			1~62	教科書、ノート、プリント		
第6回	感覚検査まとめ(丸暗記でなく神経解剖と生理で立体把握できる)			1~72	教科書、ノート、プリント		
第7回	主要反射と主要徴候(反射理解で解剖と生理も丸わかりできる)			1~82	教科書、ノート、プリント		
第8回	主要徴候(各論勉強に備えて、主要な病態が理解できる)			1~97	教科書、ノート、プリント		
第9回	試験に備えて、50問の概要説明で国試と定期試験に備える			1~97	教科書、ノート、プリント		
第10回	50問四者一択マークシート形式			1~97	教科書、ノート、プリント		
実務経験と本講義との関連について							
整形外科と外科と麻酔の修練を3年、豪州を含めて14年間心臓血管外科医として実践、その後循環器の開業医として地域医療を10年以上行っている。また血管外科の手術診療を近隣病院で継続している。産業医活動にて検診や予防医療にも従事している。米国や日本の医師国家試験なども継続的に勉強している。以上の経験知識をもとに一般臨床と外科学の講義を担当させていただいています。							
メールアドレス							
kouchi-t@nihonisen.ac.jp							